西小だより

ホームページはこちら→

「強く　正しく　健やかに」　令和4年　4月13日（水）　第2号　校長　都外川　潔

あいさつのよさ

先日、西大村中学校の校長先生から次のようなことを伺いました。

入学式で、担任の先生が自己紹介をして「よろしくお願いします」と言ったときに、新入生が、「よろしくお願いします」と言ってお辞儀をしてくれました。とてもうれしく、式が、ほのぼのと温かくなりました。小学校でよく育てていただき、ありがとうございます。

私は、このことをとてもうれしく思うとともに、これは、ご家庭でもあいさつを大切にされているおかげだと、とてもありがたく思いました。

私は、毎朝、校門の前で登校する子どもたちの見守りをしています。「おはようございます」とあいさつの声をかけているのですが、3月に、卒業する6年生の子どもたち数名から次のようなお手紙をいただき、あらためて、「あいさつって大事だな」と思いました。

〇～校長先生は、雨の日も晴れの日も、信号のところに立ってくれていつも明るい挨拶をしてくれますよね？私は、「学校行きたくないなぁ」と思った日でも、校長先生の笑顔を見ると「やっぱり学校行きたい」という気持ちになります。本当にありがとうございます！！～
〇～横断歩道に立って毎日あいさつしてくれたこと、とてもうれしかったです。
〇～雨の日も、交通安全の旗をあげて、毎日、気持ちのいいあいさつをしてくださって、ありがとうございました。

※「～」は前略・後略

私が思っている以上に、あいさつをすることで、子どもたちがよろこんでくれていることがわかり、私も「よし、今日もあいさつをしよう！」という気持ちになりました。西小の子どもたちは、よいあいさつができる子がたくさんいますが、なかには、あいさつをしても反応がないときもあります。そんなときはちょっと悲しい気持ちにもなりますが、あきらめずに声をかけていこうと思います。

あいさつするタイミングには　①あいさつされたら返す　②自分からする　の二つがあり、「笑顔で」「目を合わせ」「はきはきと」「心をこめて」などが加わるとよりよいあいさつになります。

いきなりよいあいさつを求めることは子どもたちにとってハードルが高いので、まずは、4月の段階では、①あいさつされたら返す　が、みんなできるようになるといいなあと思っています。

もちろん、声を出しにくいときには、会釈（軽く頭を下げること）だけでもOK！です。

あいさつについて、ご家庭でも話題にしていただけるとありがたいです。

※「新年度の抱負」紹介の2回目を裏面に載せています。

四年生になってがんばりたいこと　　４年　FCさん

　わたしが四年生になってがんばりたいことは、まずクラブ活動です。 わたしは一年生の時からクラブ活動が楽しみでした。その理由はクラブ活動というのは、四年生からしか入れない特別な活動と思っていたからです。ですが、「このクラブに入りたい」と、しっかり決めているわけではありません。でもとても楽しそうなので、どのクラブでもいっしょうけんめいがんばりたいです。
　次は勉強です。四年生になったら授業も宿題もむずかしくなります。わたしは算数が苦手です。計算のスピードが少しおそく、二けた×二けたの計算をとく時、どうしても時間がかかってしまいます。だから計算問題をたくさんとこうと思います。そしてほかにもわたしは国語の文章題でよくまちがえます。問題をよく読んだら分かる所なのに、早とちりをしてまちがえることが多いです。見直しをしっかりとして、問題をゆっくりと、ときたいと思います。
　その次にさか上がりと、登りぼうです。わたしはどうしてもあと一歩の所で止まってしまいます。さか上がりでは、ほじょ具ありではしっかり回れるのに、ほじょ具なしでは回ることができません。登りぼうでも、とちゅうの所で手と足に力が入らなくなってしまいます。どちらも後少しの所までできているので、四年生ではさいごまで力をぬかないようがんばりたいです。
　さいごにせいりせいとんです。その理由は、わたしはせいりせいとんができていないからです。今までは何かをした後かたづけず、よくおこられていました。だからせいりせいとんがきちんと出来ている人を目指してがんばりたいです。そして、みんなから、
「いつもきれいにかたづけてるね。Cちゃんすごい！」
とほめられるようになりたいです。

　校長先生から…「がんばりたいことがはっきりと決まっていて素晴らしいなあと思います。
　　せいりせいとんは校長先生も苦手です…。お互いがんばろうね！」